バリア材料およびその周辺技術に携わってる方、バリアフィルムを網羅的に把握したい方、
これから知識が必要な方々に最適な総合・入門セミナー

B180870

バリアフィルム技術の総合知識

～バリアフィルム技術の俯瞰と市場・製品の把握～
～包装用途から先端・エレクトロニクス用途までを網羅～
～透過のメカニズム、要求特性、ドライ＆ウェットコート、成膜、ハイバリア～

2名同時に申込みで1名分無料
※適用される範囲等、詳細はホームページをご覧ください

日時	2018年8月30日(木) 10:30～16:30	会場	東京・品川区大井町 きゅりあん 4F 第1グループ活動室
受講料	48,600円 ⇒S&T会員 46,170円 ※S&T会員(郵送DM案内あるいはE-mail案内を希望される方)は価格が5%OFFになります。 (定価:本体45,000円＋税3,600円　　会員:本体42,750円＋税3,420円)		資料・昼食付

講師　久留米工業高等専門学校　生物応用化学科　元教授　工学博士　伊藤 義文　氏
元 三菱重工業(株) 広島研究所　元 (株)メイワパックス 技術開発本部

趣旨

アルミ蒸着フィルムは、アルミ箔代替として優れたガスバリア性、耐ピンホール性、光線遮断性、装飾性が注目され、一方透明蒸着フィルムは、塩化ビニリデンフィルム代替として優れたガスバリア性、透明性、レトルト耐性、非金属性、環境対応性などが注目され現在大きな食品包装市場を形成しております。最近は、ガスバリア性に加え、フィルム自身に酸素、水蒸気を吸収する機能持つアクティブパッケージが広く利用されるようになっています。 また、最近は透明蒸着フィルムを利用した太陽電池や量子ドットフィルム、有機ELの封止膜へのハイバリアフィルムの適用拡大行われています。この分野では食品分野とは桁違いの厳しいバリア性と軽量でフレキシブルなバリアフィルムが要求され、このため有機・無機膜からなるハイブリッドコーティング技術が開発されてきております。

これらの技術内容や市場について、本講座にて分かりやすく、かつ詳細に解説します。関連技術者にとって、貴重かつ不可欠な情報が網羅されていますので、是非ご聴講ください。

プログラム

1. プラスチックフィルムの謎に迫る
   - 1.1 ガス透過のメカニズム:ガス透過モデル
   - 1.2 ガス透過理論:透過ガス量の式
   - 1.3 高分子構造とガスバリア性:高分子の構造とガスバリア性
   - 1.4 各種フィルムのガス、水蒸気バリア性:パーマコール

2. バリア性を付与するドライコート薄膜作製手法
   - 2.1 ドライコーティング法の分類
   - 2.2 薄膜の形成:薄膜成長の3様式
   - 2.3 アルミ蒸着膜:アルミ蒸着フィルムのラミネート効果
   - 2.4 透明蒸着膜:透明蒸着フィルムの構成と性能

3. バリア性を付与するコータ設備
   - 3.1 ウエットコーティング:バリア性付与コーティング技術の分類
   - 3.2 ドライコーティング:巻取式真空蒸着機の構造
   - 3.3 ハイブリッドコーティング

4. バリア性をどう評価するか
   - 4.1 プラスチックの主な規格・試験法:ガス透過度測定方法の分類
   - 4.2 ガス透過度測定:等圧法のガス透過度測定原理

5. アルミ蒸着、透明蒸着フィルムのマーケット情報
   - 5.1 包装用バリアフィルムの市場:包装用バリアフィルムの生産量推移
   - 5.2 アルミ蒸着フィルムの物性と製品例:
     アルミ蒸着フィルムの基材別生産量と製品名
   - 5.3 透明蒸着フィルムの物性と製品例:透明蒸着フィルムの一覧

6. アクティブパッケージとバリアボトル
   - 6.1 酸素吸収フィルム:アクティブパッケージについて
   - 6.2バリアボトル:SiOx内面CVD蒸着技術(東洋製罐、Sibard)
   - 6.3 吸湿フィルム:乾燥剤の種類と特徴

7. ハイバリアへの展開―太陽電池、量子ドット、有機EL
   - 7.1 ハイバリアフィルムの市場:市場規模予測
   - 7.2 太陽電池:主な太陽電池の分類と要求バリア
   - 7.3 量子ドットフィルム:量子ドットの働きと波長変換の仕組み
   - 7.4 有機ELディスプレイ用封止膜:有機ELを用いた製品

□質疑応答□

■2名同時申込みで1名分無料■
(1名あたり定価半額の24,300円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限ります。 ※他の割引は併用できません。
※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。
※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。
※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙　B180870(バリアフィルム)　　P

会社名 団体名			
部　署			
役　職		住　所	〒
ふりがな			
氏　名			
TEL		FAX	
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

今後のご案内
□E-mail希望・登録済み
□郵送希望・登録済み
□希望しない
} S&T会員価格を適用いたします。(E-mailアドレス必須)

お支払方法
□銀行振込(振込予定日　　月　　日)
□当日現金払い

通信欄

●受講料について
「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、
もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、
事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
●キャンセル規定
開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
・開催7日前以前でのキャンセル:　キャンセル料はいただきません。
・開催3～6日前でのキャンセル:　受講料の70%
・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席:　受講料の100%
※ご注意※　参加者が最少催行人数に達しない場合など、
事情により中止になることがございます。

サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188　FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com

FAX 03-5733-4187　HPからもお申込みができます　検索サイトで　B180870　バリアフィルム　で検索!